



Right "Hear", Right Now.



リアコム アルボ

# ALVO1.9

リアルタイムワイヤレスコミュニケーション



ENC 2.0



Bluetooth



有線対応

**Stop Shouting.  
Start Talking.**



原寸サイズ

## 現場の声を 確実ににつなぐ



ノイズキャンセル



リアルタイム



同時通話



小型・軽量



薄型



Bluetooth

無線機であり、無線機ではない。

# 騒音下でも 本当に“会話” できていますか？



聞こえない。聞き返す。判断が遅れる。  
その小さなロスが、現場のミスや事故を招く。  
騒音に声が埋もれた瞬間、確認は曖昧になり、  
現場の流れは止まる。  
だから、現場の声は、決して埋もれさせては  
いけない。



## ALVO1.9 が選ばれる理由

### 騒音は、 もう敵ではない。

世界最高レベルを目指して磨き上げたノイズキャンセル性能が、周囲の騒音をリアルタイムに処理。

騒音に埋もれる声を整え、判断に届くクリアな情報へ変えます。

### 遅れた声は、 もう会話ではない。

スポーツでは、わずかなズレが判定を狂わせ、建設現場や工場、命を預かる現場では、一瞬の遅れが不良や事故を招く。

複数人が同時に話せる超低遅延通信で、リアルタイムに共有できます。

### 人にも電波にも、 もう埋もれない。

人が多く、さまざまな無線機器が飛び交う環境でも、現場の声を埋もれさせない。

Wi-FiやBluetooth機器が多い現場、ドローンが飛ぶ現場でも、安定した通話運用を目指します。



# 騒音対策、セキュリティ、見やすさ、ルーム分け。



## ENC 2.0

超騒音下でも声を届ける

周囲のノイズをリアルタイムに処理し、騒音下でも聞き取りやすい音声通話をサポート。



## AES-256

通話データを保護する

AES-256暗号化により、業務用途に求められる高水準のセキュリティに配慮。



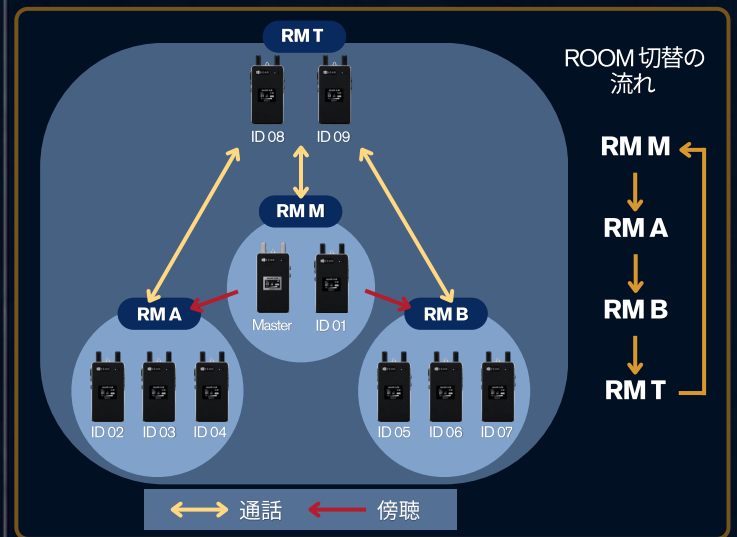
## 一目で分かる 液晶ディスプレイ

グループ、ID、音量、ルーム、通話状態、バッテリー残量を視認しやすく表示。



## グループ内で ルーム分けが可能

RM Mは現場の管理者用ルーム。  
RM AとRM Bの会話を傍聴しながら、Pボタンでルームの切替が可能。RM Mから移動してRM AやRM Bへ指示。  
RM Tで全員に一斉指示といった切替が可能。



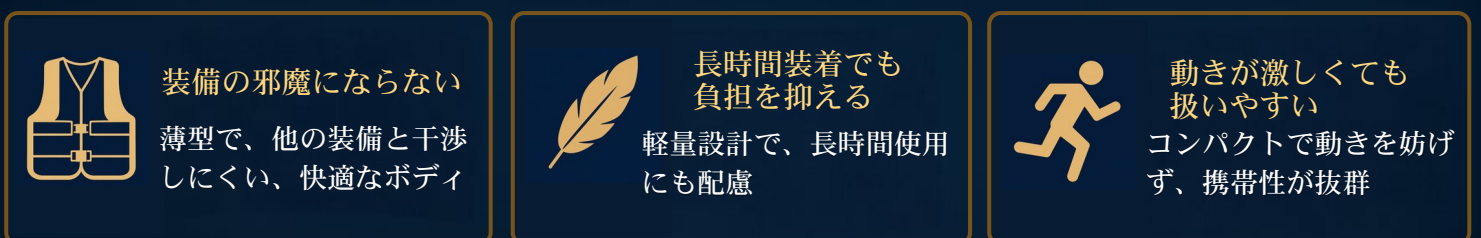
# 装着感を忘れる、薄さと軽さ。



## コンパクト設計で、あらゆる現場にフィット



## この軽さと薄さが、現場のパフォーマンスを支える



# 1.9GHz DECTで、 混雑環境でも安定した通話へ。

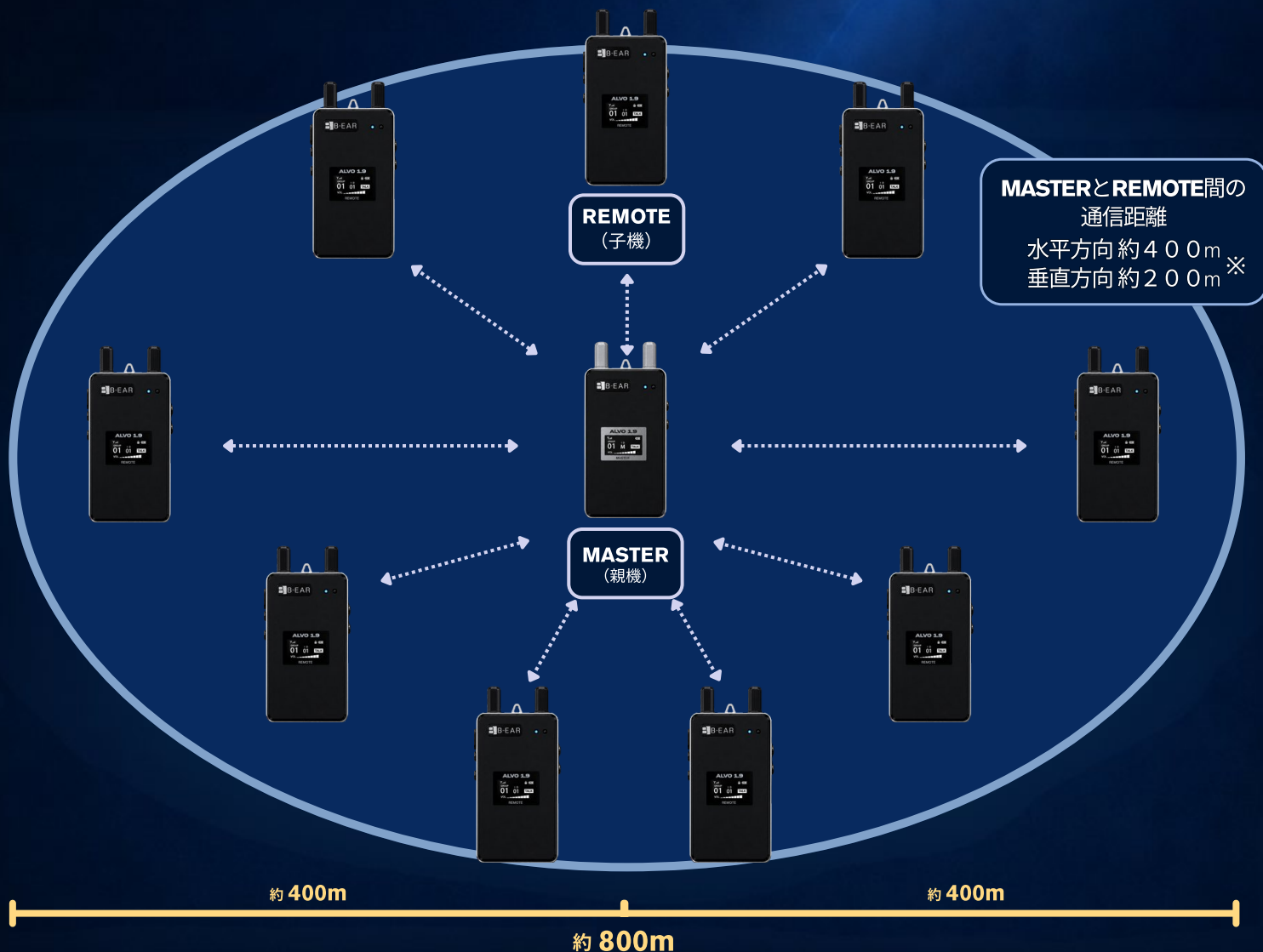


1.9 GHz DECT 方式を採用。

イベント会場、競技場、展示会など、

人が多く集まる環境でも安定した通話運用を目指します。

## 1グループ最大10人同時通話



※ 障害物のない見晴らしの良い場所での測定値です。使用環境や天候により、通話距離は前後します。

### イベント



フェスやコンサートなどで  
スタッフの連絡に

### スポーツ



競技場で監督とサポート・  
運営スタッフ・審判用に

### 展示会



展示会・催事での  
スタッフ連携に

### 公共・商業施設

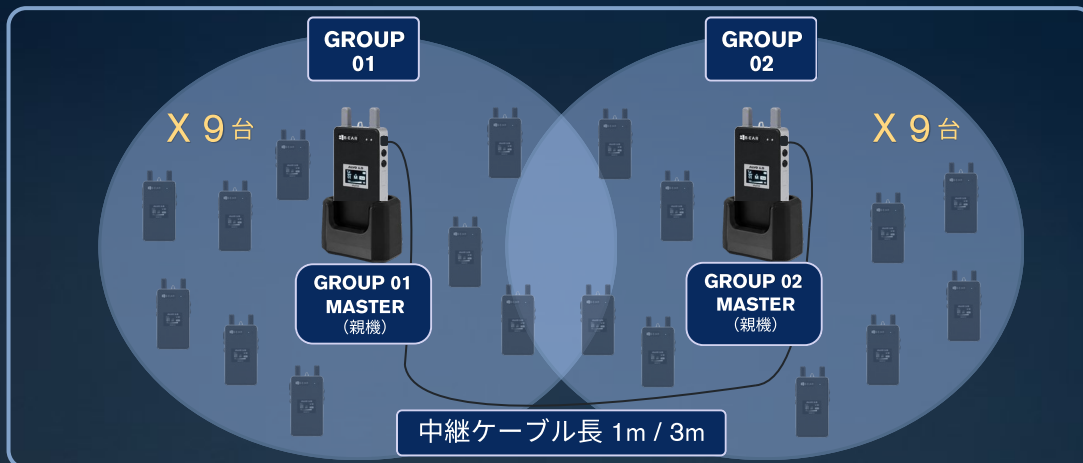


人が多く集まる施設など  
混雑環境での通話に

# グループをつなげば、 人数もエリアも拡大。



異なるグループのマスター同士を有線接続することで、  
最大18台での運用が可能になります。



※中継役となった機器は通話に使用できないため、その分、同時通話台数が減ります。

異なるグループのリモート同士を中継ベースで接続することで、各グループのマスターを  
通話に使ったまま、最大3グループ・26台・約2.4kmでの運用が可能になります。※



※ 中継役となる機器は通話に使用できないため、その分、同時通話台数が減ります。接続には中継ベース、もしくは中継ケーブル1m/3mが必要です。  
※ マスターと中継ベースは、位置が変わらない場所に据え置いてください。持ち歩くと通話範囲ごと動き、リモートとの距離が読めなくなります。  
※ 連結するグループが増えると、遅延が大きく、音質は下がります。遅延が許されない現場、ノイズキャンセリングを常に効かせたい現場には推奨しません。  
※ 約2.4kmは見通しの良い場所での数値です。建物の多い繁華街や住宅街でこの距離を見込むのは現実的ではありません。  
※ 「最大3グループ・26台・約2.4km」は条件がそろったときの物理的な最大構成です。



別グループ同士の  
有線接続

グループ間を有線で接続し、  
別グループ間の通話連携を実現。



さらに多人数で  
運用可能

複数グループを統合することで、  
同時通話人数を大幅に拡張。



より広範囲で  
運用可能

エリアをまたぎ通信をカバーし、広  
範囲で連携が可能に。



障害物の多い現場、複数チーム運用などに有効です。

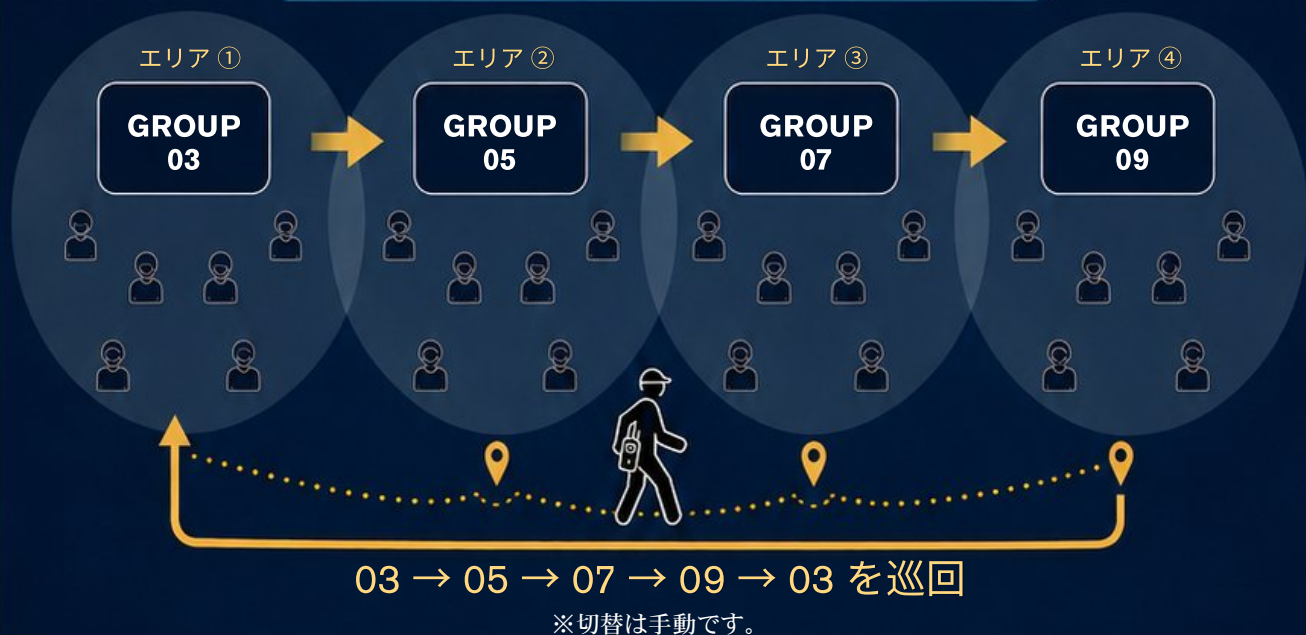
# 広がったエリアを、

## 巡回スタッフがスムーズに移動。

### ROAMING

複数グループを接続し、エリアを拡大した現場では、巡回や移動を行うスタッフが複数のエリアを行き来することがあります。あらかじめ4グループまで登録しておくことができ、モードボタン<sup>®</sup>を短押するだけで、登録したグループへ順番に手動で切り替えられます。

#### ローミング切替の流れ（最大4グループ登録）



巡回スタッフに最適

複数エリアを  
スムーズに移動



ワンタッチ手動切替

Ⓜを短押して  
グループ切替



最大4グループ登録

4グループまで  
登録可能

#### 活用例①

##### プラント・製鉄所・化学工場

製造ライン、設備保全、中央監視、屋外設備など、担当エリアが細かく分かれる広大な現場。各エリアに親機を置いて連結すれば、構内全体を広くカバー。保全員や巡回員は、移動先エリアの親機へワンタッチで、切り替えるだけで、広い設備内でも途切れにくく運用できます。



#### 活用例②

##### 病院・介護施設・福祉施設

フロア、棟、ナースステーション、リハビリ室、事務所など、壁や区画でエリアが分かれる現場。フロアごとに親機を置いて連結すれば、施設全体を広くカバーでき、巡回スタッフや責任者は、移動先の親機へワンタッチで切り替えるだけで、館内を移動しながら連携できます。



#### 活用例③

##### スポーツスタジアム・アリーナ

ピッチ周辺、観客席、入退場口、警備、運営本部、救護など、区画が広く分かれる会場。各区画に親機を置いて連結できれば、会場全体を広くカバー。巡回警備や統括者は、移動先区画の親機へワンタッチで切り替えるだけで、広い場内でもスムーズに移動、連携できます。



# 接続も充電も、現場に合わせて柔軟に。

## 01 Bluetooth 5.2 / 専用変換ケーブルで有線対応

Bluetooth 対応ヘッドセットとの接続に対応。  
さらに専用変換ケーブルを使用することで、  
有線ヘッドセット接続にも対応します。※  
現場環境や使用用途に応じて柔軟に選べます。



※市販のUSB Type-CヘッドセットをALVO本体へ直接接続して使用することはできません。使用には専用変換ケーブルが必要です。ただし、専用変換ケーブルを使用した場合でも、ヘッドセットの仕様によっては正常に動作しない場合があります。

## 02 3 パターンの充電方法

1. USB Type-Cケーブル
2. 1 台用専用充電ドック
3. 10 台同時専用充電ドック



Bluetooth 5.2



USB Type-C



最大10台  
同時充電

# 厳しい現場に応える拡張性。

## IP67 防水ケース（オプション）※

水・粉塵から本体をしっかり保護。  
衝撃リスクにも配慮した専用ケース。



※ IP67は防水ケース装着時の保護性能です。  
ALVO本体は、IP54です。



## さまざまな現場で、確実なコミュニケーションを



### 消防・救助・災害現場

火災・救助活動で、隊員間の連携を止めない



### 自衛隊・海保・災害復旧

通信インフラに頼らず、指揮・確認・報告を迅速に



### 工事・インフラ

騒音環境でも作業指示と安全管理をスムーズに



### イベント・スポーツ

スタッフ連携、競技運営、レフェリー間の情報共有に

## アクセサリ



品番：B-ALC1  
ベルトクリップケース



品番：B-ALC2  
防水ケース



品番：B-ALC01  
ALVO 1台用充電器 ※1



品番：B-F06  
USB Type-C 充電ケーブル



品番：B-ALEX10  
ALVO 中継ケーブル 1m



品番：B-ALEX30  
ALVO 中継ケーブル 3m



品番：B-ALC10a  
ALVO 10台用充電器 ※2



品番：B-ALC10b  
ALVO 10台用充電器  
キャリーケース付



品番：B-ALEXa  
ALVO 中継ベース ※1



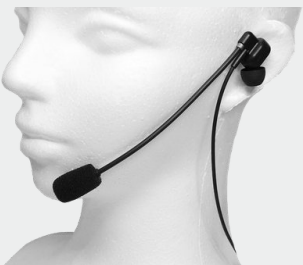
品番：B-ALGCs  
専用変換コード シングル  
3.5mm/USB-C ※3



品番：B-ALGCd  
専用変換コード ダブル  
3.5mm/USB-C ※4



品番：B-VST  
B-EARベスト



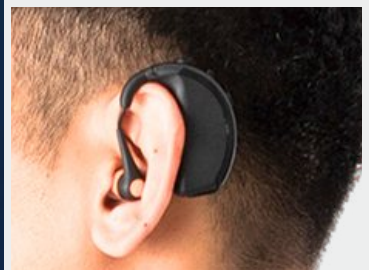
品番：B-RFTC  
VoiSniper ボイスナイパー-RFTC



品番：SSW-1121  
VEXA (ヴェクサ) ※1



品番：SKZ-EPB2  
Shokz OpenComm2  
2025 Upgrade ※1



品番：AUROEA-500  
AURO Bluetooth接続タイプ ※1

※1 USB-C充電ケーブルが付属しております

※2 ACアダプターが付属しております

※3 BRIDGECOM X5で使用しているヘッドセットのプラグに繋げるとALVO1.9にも使用できます

※4 BRIDGECOM X10、X10アスリートで使用しているヘッドセットのプラグに繋げるとALVO1.9にも使用できます

|            |                                                   |
|------------|---------------------------------------------------|
| 品番         | マスター（親機）ALVO1.9M-MB / リモート（子機）ALVO1.9R-MB         |
| サイズ・重量     | 88.3 (H) x 50.5 (W) x 12.5 (D) mm / 95g           |
| 素材         | PCプラスチック / アルミフレーム                                |
| バッテリー      | リチウムイオン 3.8V / 2,000mAh                           |
| 動作時間       | マスター：約9時間（子機5台接続時） / リモート：約30時間                   |
| 充電時間       | 約3～5時間                                            |
| 同時通話人数     | 1グループ最大10人                                        |
| 動作周波数      | 1.893 ～ 1.906GHz                                  |
| オーディオ周波数特性 | 200Hz ～ 3.6kHz                                    |
| ヘッドセット入出力  | USB Type-C                                        |
| オーディオ出力    | 最大出力音圧レベル111.8dB (EAR013)、20mW未満 @10%THD / RL=33Ω |
| 通信距離       | 水平方向 最大 約400m / 垂直方向 最大 約200m ※                   |
| 変調方式       | GFSK                                              |
| 外部接続       | Bluetooth 5.2 / USB Type-C                        |
| 操作ボタン      | 音量ボタン、電源・通話ボタン、モード選択、Bluetooth・ルーム切替              |
| 出力ポート      | USB Type-C（音声入出力・充電）                              |

※障害物のない見晴らしの良い場所での測定値です。使用環境や天候により、通話距離は前後します

株式会社ベアリッジ  
<https://bearidge.com/>  
[info@bearidge.com](mailto:info@bearidge.com)

B-EAR 情報



AI Agent Mr. B-EAR



# タフな現場にこたえる無線。

届くことが、すべての前提になる現場がある。

クレーンの旋回半径の下。

数千人が詰めかけたスタジアムの通路。

煙の向こうの、救助の最前線。

そこでは、ひとつの声が届くか届かないかが、

段取りの良し悪しではなく、人の安全そのものを分ける。

騒音が会話をかき消す。距離が指示を途切れさせる。

「聞こえなかった」では済まない一言が、現場には無数にある。

現場の声は、命綱。

B-EARは、効率を上げるための道具だけではなく、

全員を無事に帰すための道具として在る。

一日の終わりに、現場に出た全員が無事に帰る。

その当たり前を、通信の側から支えること。

それが私たちの仕事であり、使命である。

“Passion starts the shift. Purpose brings everyone home.”

情熱がその日の仕事を動かし、使命が全員を無事に帰す。





